



ほめたい!! おず Ho-Me-Times

～心に響くキャリア教育～

創立記念日! おめでとう特集号!

令和5年11月15日
大阪市立 大淀小学校
中大淀幼稚園
校園長 柴田 清志

ごあいさつ

みなさま、こんにちは。大淀小学校長・中大淀幼稚園長の柴田清志です。
11月15日は、大淀小学校・中大淀幼稚園の誕生日（創立記念日）です。
子どもたちへのステキな Gift が届きましたね。

さて、2学期も残すところあと1か月ほどとなりました。“校園長だより”
3回目を発行します! ぜひお読みいただけたらうれしいです。

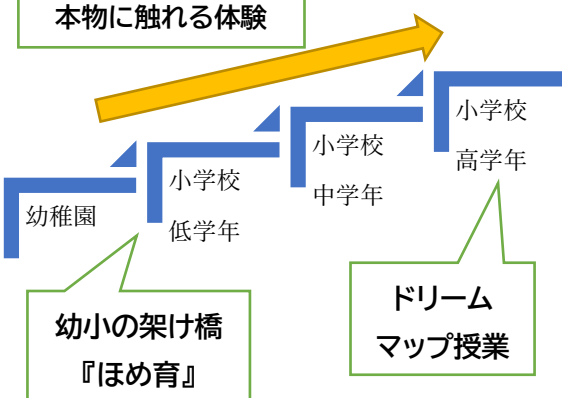
♪校園長だよりのタイトル「ほめたい!! おず」には2つの思いが!

- ① ほめたい! …良いところを見つけてそれをほめてあげたい!
- ② Ho-Me → home…つまり学校園がホーム(お家)のようにあたたかい居場所になってほしいな…。

ほめたい!! おず
Ho-Me-Timesが、皆様と学校園との「架け橋」になりますように…。

響育 ～心に響くキャリア教育

本物に触れる体験

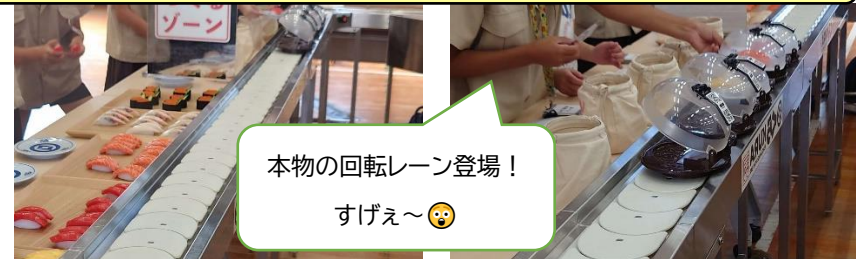


4歳児から6年生までの8年間
を見据え、将来を見据えたキャリア
教育に取り組んでいます。

「本物に触れる!」をテーマ
に、企業・社会・SDGs・国際
理解等を肌で感じ、そして幼小含
めた異学年交流など様々な取り組
みを進めています。

心に響く“夢”を抱いて、中学
校・そしてその先の未来につなげ
ていきたいと考えています。

「くら寿司 出前授業」SDGsを学ぼう! ～5年生



★社会を知る! SDGsって何?

みんなが知っている回転ずしのお店「くら寿司」様をお招きし、SDGsの学習を
しました。お魚の命を大切にすることや、食育・経営の工夫などを教えていただき
ました。なんと当日は、本物の回転レーンも登場し、子どもたちは大喜びでした!

おにいさんおねえさんといっしょに“英語”に触れよう!

～4年生 × 幼稚園児



Hello! Happy Halloween!
～ 英語で交流! ～

★中大淀幼稚園に 小学校の先生がやってきた!

ハロウィンの音楽やゲームを通し
て英語で交流を行った4年生と園児
たち。キャンディをもらった園児た
ちの笑顔! ミールミールを踊ったす
べての子どもたちの一体感!

英語交流はワクワクの1日に!



ほ め たい!! むず Ho-Me-Times

～幼小の架け橋プログラム『ほめ育』への挑戦！！

児童と園児の
夢の架け橋

★「幼小の架け橋プログラム」とは？

5歳児～小学校1年生の2年間で、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるための重要な時期と位置づけ、“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”と“小学校教育課程”を念頭に置きながら「幼小共通の視点を持って」「幼小の教職員同士が関係を築きながら」子どもたちを育てていくこととされています。（文科省 HP より抜粋）

今年度より、『ほめ育』を柱として取り組んでいる幼小の架け橋プログラム。第2回は、「作品展の看板作り」！“4つのほめる視点”を、子どもたちには“4つのがんばること”と置き換えて伝えてから、交流を深めました。

園児・児童で力を合わせて作った立て看板！



わ～、がんばってつくったやつが
はってある!!! (園児の声)

★小学校の作品展会場入口に掲示しました！

幼小の架け橋プログラムの活動として、1年生の児童と年長園児で看板を作りました。1年生が「秋見つけ」で集めてきたどんぐりやまつぼっくり、落ち葉や枯れ枝などを使って作りました。小学校の作品展会場に掲示されている看板を見て、園児たちも大喜びでした！

幼小の架け橋の活動はこれだ！ 「作品展飾りつけ」

★ほめる4つの視点！

4つのがんばるポイント（かがやき、ひらめき、ほほえむ、たのしむ）を子どもたちに伝え、特にどれをがんばりたいかを考えてから取り組みました。そして小学生は、「園児の名前を覚えて呼ぶ」こともがんばりました。最初は緊張していた子どもたちも、時間がたつにつれて笑顔が！！1年生が、やさしく声をかけている姿に心があたたかくなりました。振り返りではたくさんの感想を、子どもたち同士で共有しました。

はっぱをつなげるところをおねえちゃん
がやさしく教えてくれてうれしかった！



幼稚園の子といっしょに
協力してつくれて楽しかったです



♪先生たちの声♪

★藤原先生（幼稚園）

「4つの視点」を幼小共通で決めたことで先生たちも振り返りがしやすいです。園児が就学を楽しみにしている様子が見られてうれしいです！

★吉井先生（小学校）

完成した作品を見ると、子どもたちの頑張りがよく伝わります。子どもたちが“かがやける”ように、先生たちで何度も真剣に話し合いを重ねたので、感慨深いです。